

平成 23 年 5 月 11 日

各 位

会社名 不二サッシ株式会社
代表者名 代表取締役社長 土屋 英久
(コード番号 5940 東証第2部)
問合せ先 取締役 管理本部長 柳澤 孝司
(TEL: 03-5745-1210)

『中期経営3ヵ年計画』の策定について

当社では、今後3年間(2011年度～2013年度)を計画期間とする『中期経営3ヵ年計画』を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 計画の策定にあたって

現在、当社グループを取り巻く市場環境は、2008年9月のリーマンショック以降の世界的不況から国内景気は緩やかな回復傾向にありますが、デフレ経済、雇用・所得不安、慢性的な円高、更には、東日本大震災の影響による経済の停滞など先行きは不透明な状況が続いています。

また、国内設備投資の回復力は弱く、建築需要の伸び悩みや、中長期的にも人口減少により、国内需要依存型のサッシ業界は先行きの成長が多くは期待できない状況にあります。さらに、市場縮小によるサッシ業界の受注競争の激化と受注契約の収益採算悪化が顕著になっております。

これらの状況に鑑み、当社グループは、市場成長性と強みのある事業分野へ経営資源を投入し、グループ事業構造の変革を通じ、グループ収益力と財務体質の強化を図り、持続的な成長を目指すべく、新たに『中期経営3ヵ年計画(2011年度～2013年度)』を策定いたしました。

2. 『中期経営3ヵ年計画』の骨子 (別紙、中期経営3ヵ年計画 参照)

(1) ビル建材事業(新築)の収益力強化

海外生産および資材生産効率化によるコストダウン

(2) リニューアル事業への経営資源の投入による売上拡大

ビル新築工事からストック市場開拓へシフトすることによる収益性の改善

(3) アルミ加工技術力を活かしたアルミ精密品・加工品分野の強化と新素材開発

(4) 環境事業の拡充、LED事業等の成長分野への進出による収益源の多様化

(5) グループ経営の効率化等による合理化推進

(6) 財務体質の改善

3. 数値目標

売上高	1,000億円
営業利益率	3.0%以上
有利子負債残高	260億円以下
ビル建材(新築)売上比率	2010年度比5%ダウン

以 上

中期経営3カ年計画(2011～2013年度)

市場成長性と強みのある事業分野へ経営資源を投入し、グループ事業構造の変革を通じ、グループ収益力と財務体質の強化を図り、持続的な成長を目指す。

2010年度実績(連結)

(百万円)

売上高	89,676
ビル新築比率	52.5%
営業利益	1,116
営業利益率	1.2%
経常利益	640
当期利益	570
純資産	5,422
有利子負債残高	30,266

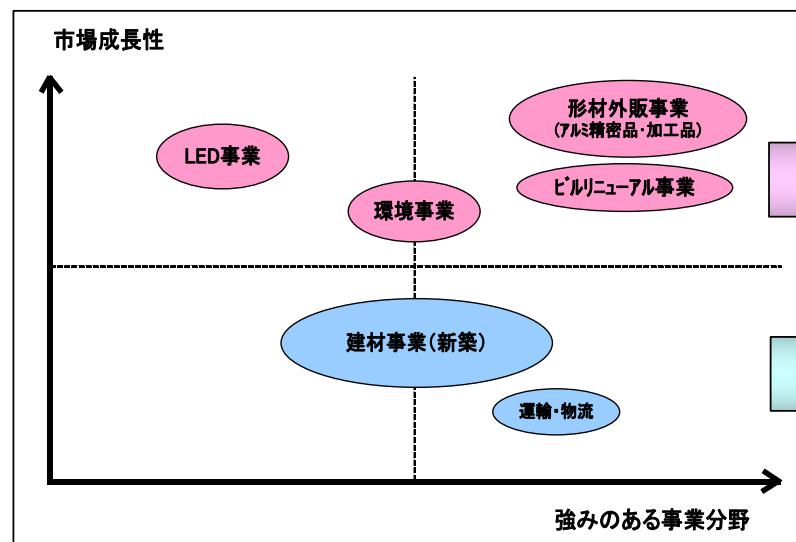
数値目標(最終年度)

売上高	1,000億円
営業利益率	3.0%以上
有利子負債残高	260億円以下
ビル建材(新築)売上比率	2010年度比5%ダウン

当社の目指すべき姿2013年度(連結)

(百万円)

売上高	100,300
ビル新築比率	47.5%
営業利益	3,120
営業利益率	3.1%
経常利益	2,590
当期利益	2,240
純資産	8,700
有利子負債残高	26,000



経営基本戦略

- (1) ビル建材事業(新築)の収益力強化
海外生産および資材生産効率化によるコストダウン
- (2) リニューアル事業への経営資源の投入による売上拡大
- (3) アルミ加工技術力を活かしたアルミ精密品・加工品分野の強化と新素材開発
- (4) 環境事業の拡充、LED事業等の成長分野への進出による収益源の多様化
- (5) グループ経営の効率化等による合理化推進
- (6) 財務体質の改善